CGP
The Japan Foundation Center for Global Partnership

ジャネット・ムルギア氏講演会

多文化共生時代の教育

—The Journey Towards Equity—

2018
8/17 fri. 18:30-20:00（18:00開場）

シンポジウムに引き続き、レセプションを開催いたします。

日英同時通訳／入場無料

Lecturer
ジャネット・ムルギア
ウニドスUS会長兼CEO

ウニドスUSはヒスパニック系では米国最大規模の公民権及びアドボカシー団体である。ムルギア氏は、教育、医療福祉、移民、公民権や経済といったヒスパニック・コミュニティが抱える課題に対して、ラテン系住民の声を拾い上げ、広める活動に積極的に取り組んでいる。

会 場
国際文化会館 別館2階 講堂
〒106-0032 東京都港区六本木5-11-16
http://www.i-house.or.jp/access.html

主 催
独立行政法人 国際交流基金日米センター（CGP）

お申込み
参加ご希望の方は8月13日（月）までにEメールにて氏名・所属・電話番号を明記の上、お申込みください。
Eメール：cgpc@jpf.go.jp

ジャネット・ムルギア氏講演会

多文化共生時代の教育 —The Journey Towards Equity—

在留外国人の急速な増加に伴い、地域社会との軋轢や摩擦が生じ、教育、社会保障、労働環境、経済状況など様々な面での課題が日本各地で浮き彫りになってきています。社会で存在感を増す外国人住民をいかに包摂していくのかは日本全体で考える必要があり、地域社会の分断や世代間の負の連鎖を断ち切るために教育問題への向き合い方は、とりわけ重要です。

講演者のムルギア氏は、米国最大のヒスパニック系アドボカシー団体であるウニドスUSの会長として、長年にわたり、エスニック・マイノリティであるヒスパニックコミュニティの地位向上や教育改善などに取り組んできました。社会的・経済的に弱い立場におかれがちなヒスパニックの人々が、教育や意識改革を通じて、多民族国家・米国のなかで生きる力を獲得してきた経験は、多文化共生時代の日本とも共通する現在進行形のチャレンジです。講演会では、日本国内における外国人子弟の教育問題に取り組む日本女子大学の清水睦美教授との対談形式で、日米におけるエスニック・マイノリティへの教育支援の現状や、官民連携の在り方、社会の意識変革について議論します。また、教育を切り口に、多様な文化や背景をもつ人々のアイデンティティを尊重しながら共生していくためにどのような社会を創っていくか、日本の目指すべき多文化共生社会の姿について考えていきます。

多文化共生時代の教育

Lecturer

ジャネット・ムルギア
Janet Murguía
ウニドスUS会長兼CEO

ジャネット・ムルギア氏は、ヒスパニック系では米国最大規模の公民権及びアドボカシー団体であるウニドスUSの会長兼CEOを務める。同氏は、2005年よりウニドスUSの事業強化及び活発なアメリカの民間団体としての影響力の向上を模索してきた。ムルギア氏は、教育、医療福祉、移民、公民権や経済といったヒスパニック・コミュニティが抱える課題に対して、ラテン系住民の声を拾い上げ、広める活動も行っている。ムルギア氏が成し遂げてきた数々の業績は高く評価され、同氏はワシントンD.C.の雑誌で「ワシントンで最も影響力のある女性100人」に2度選ばれ、Non Profit Timesの「有力かつ影響力のあるトップ50人」のリーダーとしても選ばれている。ウニドスUSに務める前は、カンザス大学の副学長及びクリントン政権において大統領副補佐官としての任務に従事してきた。

ムルギア氏は、カンザス州、カンザス市で育ち、カンザス大学にて3つの学位（ジャーナリズム、スペイン語、法学博士）を取得。また、名誉学位としてカリフォルニア州立大学から名誉文学博士、ウェイク・フォレスト大学では名誉法学博士を取得している。

Moderator

清水睦美
Mutsumi Shimizu
日本女子大学　教授

日本女子大学人間社会学部教授。専門は教育社会学・学校臨床学。1997年より神奈川県大和市を中心に外国人の子どもたちの学校・地域・家庭での生活や適応に関する調査を、参与観察や聞き取りにより継続している。2005年には博士号（教育学）を取得し、『ニューカマーの子ども達ー学校と家族の間の日常世界』（勁草書房、2006）を刊行している。これらの研究活動と並行して、外国人の子どもに対する教育のあり方を学校教員と検討したり（『外国人生徒のためのカリキュラム』嵯峨野書院、2006）、外国人の子どもたちとの自治的な活動を支援したり（『いちょう団地発！外国人の子どもたちの挑戦』（岩波書店、2009）する社会的活動も行ってきている。2007年には、外国人の子どもを中心とする弱い立場に置かれた子どもたちを支援するNPO法人教育支援グループEd.ベンチャー（http://edventure.jp/）の立ち上げにも参画し、現在も理事として活動に積極的に参加している。2014年からは、青年になったニューカマー第二世代へのインタビュー調査を実施し、日本の学校経験や家族との生活の経験を振り返る聞き取り調査を行いながら、現在の日本の学校教育を検討している。

2018
8/17 fri. 18:30-20:00（18:00開場）

シンポジウムに引き続き、レセプションを開催いたします。

会　場
国際文化会館 別館2階 講堂
〒106-0032 東京都港区六本木5-11-16
http://www.i-house.or.jp/access.html

主　催
独立行政法人 国際交流基金日米センター（CGP）

お申込み
参加ご希望の方は8月13日（月）までにEメールにて氏名・所属・電話番号を明記の上、お申込みください。
Eメール：cgpc@jpf.go.jp

最寄駅
都営大江戸線
麻布十番駅　7番出口より徒歩5分（上り急勾配あり）
東京メトロ南北線
麻布十番駅　4番出口より徒歩8分（上り急勾配あり）
東京メトロ日比谷線
六本木駅　3番出口より徒歩10分

CGP
The Japan Foundation Center for Global Partnership